THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA

WEEKLY
なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
承　認　1982年　8月24日
例会日　火曜日　12:30
例会場　愛知厚生年金会館
事務局　TEL763-5110 FAX763-5121
会　長　鈴木理之
幹　事　三好　親
会報・雑誌委員長　加藤重雄

No. 2　ロータリーを祝おう　100年の歩み　CELEBRATE ROTARY　100 Years　2004～2005年度　RI会長　グレンE.エステス・シニア

きょうの例会

第1050回　平成16年7月27日(火)

友　愛　の　日

(委員会別意見交換日)

先週の記録

第1049回　平成16年7月20日(火)　晴

◆"奉仕の理想"

◆出席報告

会　員	67(59)名	出　席	38名
出席率	64.41%		
前々回	7月6日(修正出席率)		91.38%

◆ゲスト紹介

ロータリー財団奨学生　馬場今日子さん

三好幹事報告

1．本日例会終了後、クラブアセンブリーを開催致しますので担当の方は芙蓉の間にお集まり下さい。
　理事役員の方はその後、理事役員会となりますのでそのままお残り下さい。

2．次回例会は"友愛の日"ですが、年12回のうち4回をテーブル席とし、意見交換をして頂くよう計画致しました。第1回として各委員会にてご着席頂き、活発なるお話し合いをお願い致します。

鈴木(理)会長挨拶

梅雨が一週間も早く明け、異常気象の為か連日猛暑が続く中、ニュースでは新潟と福井の大雨による被害を映し出され何ともやり切れない思いですが、皆さんのお元気なお顔を拝見しホッとしております。

本日は馬場今日子さんが3年間の奨学生を無事終え帰国のご挨拶に来て頂いており後ほどお話をして頂きます。

先週、三好幹事と親クラブさんへ表敬訪問してきましたが、さすがに45年を経た伝統あるクラブであり例会の雰囲気も格調高く、例会中も私語が少なく早退者も無く、教わる点が沢山ありました。

伝統といえば能楽の社会に「家は一代にて家ならず続いてこそ家なり」と言われ、この家とは巷で言う「三井家」「岩崎家」を表し、長い伝統を以て立派な流儀を起こし芸風、家風を作りなさいという格言です。

振り返って我がクラブの「クラブ風」は何ぞやと考えた時、去る年度に喧々諤々と各人議論が続出し纏まる気配のない時に水野創立会長の一言「まあそんなに意地を張らずにあんばい良くやってちょうだい」との発言に一同我に返り問題が解決した事がありました。

此ぞ我がクラブの伝統となる立派な「クラブ風」であり伝えていきたい金言だと思いました。

ちなみに「あんばい」とは昔塩と梅酢により料理の味を引き立てるとの語源から物事の折り合い、政務を適切に処理する事だそうです。

我がクラブが今後も「按配（あんばい）」よく行くことを願っております。

2001～04年度財団奨学生 馬場今日子さん帰国挨拶

本日は例会に出席させて頂いて大変嬉しいです。

この度3年間の財団奨学生プログラムが終了しましたので皆様への感謝と今後の予定など述べさせて頂きます。

ロータリーには経済的な支援を受けそれは本当にありがたかったのですが、精神的にも非常に助けられ顧問の田部井さんには出発前から何かあったら相談して下さいと云って頂いておりましたので、いつも心強く思っていました。また例会や催し物に参加させて頂い

た時は様々な方から温かい励ましを頂きトロントへもウィークリーや手紙を送って頂き常にロータリーと繋がっているという思いを強く感じて私の精神的な支えでした。トロントの顧問フィーラニさん一家にも家族同様の扱いを受け私は何の心配もなく勉強に打ち込むことが出来一生の財産であると確信しています。

指導教官に目をかけて頂いたおかげで少数精鋭の研究プロジェクトに抜擢され先輩や先生と一緒に仕事をこなしたり重要な国際会議でボランティアとして議論のまとめ役をしたりしました。

私の留学は３年間の予定でしたがロータリーから奨学金を受けていたことも評価され今年から２年間はカナダ政府から奨学金を頂けることになったのでトロントで勉強を続ける予定です。この５月から私は博士研究の為のデータを日本で取っていましたが、収集が終わったのでトロントに戻り論文を書き始めます。この研究成果をもとに来年アメリカで行われる私の分野（言語教育学）では世界最大の学会で研究発表を行う予定です。まだまだ長い道程ですが無事博士号を取得出来たら大学へ就職したいと考えております。トロントでは日本や私自身についてのスピーチを行い多少文化交流に貢献してきました。今後はそれに加え、これから海外に留学する日本の方々のお役に立つことをしていきたいです。その最初の一歩として奨学生の為のオリエンテーションに参加し、部屋の探し方から授業の選び方、指導教官や他の学生とのつき合い方、ストレス、マネジメントなど幅広く私の経験をお話できればと思います。又将来はカナダでの勉強や経験を生かし特に日本の教育に貢献するような仕事をしたいと考えています。

皆様、３年間本当に有り難うございました。

※無事帰国された馬場さんへ会長より記念品が手渡されました。

クラブフォーラム

◙鈴木(正)ロータリー館運営委員

ロータリー館は本年10月末完成の予定です。

長久手会場西ゲートより徒歩で約５分、迎賓館の真前に位置し、訪問には格好の場所と思われます。

サインメイクは開館中随時受付され、例会に参加も頂けます。

①お申込みの前売入場券が届きましたので、種別、枚数をご確認願います。

②ロータリー館の当クラブ例会使用日時が決定いたしました。

第１回例会
（開 催 日）2005年５月13日（金）
（例会時間）12：00～13：00

第２回例会（次年度となります）
（開 催 日）2005年９月１日（木）
（例会時間）12：30～13：30

③ロータリー館は、開催期間185日の内74日は一般向けに利用いただけますのでご希望の方は協会へ直接申込んで下さい。
（TEL）052-569-2005

④パンフレットの余部が有りますので必要の方はお申し出下さい。

◙池森会場設営委員長

クラブ計画書にも記載しました通り、会場設営委員会では経費削減を念頭において原則的に例年通りの企画を立て伊藤三津子君、油田弘佑君、林哲央君、竹内克豊君と協力して毎例会の進行を円滑に進め、和やか雰囲気で過ごすことの出来る運営を心がけたいと思います。

また、会長・幹事・出席委員長・事務局とも連携して、欠席者の事前連絡を円滑に受け付け、尚且つ出席率向上を目指して会員のパソコン及び携帯に例会等の案内をメールでお送りする企画も検討中です。

この一年間、よろしくお願いします。

◙小杉親睦活動委員長

事業計画につきましてはクラブ計画書に記載されており具体的な予定としては12回程の行事があります。

先週その第一回目として職業奉仕委員会と合同で行いました例会では予想を上回る参加、有難うございました。掲載以外にも例会後に萩原さんご指導のX'マスリース作りや宮尾さんの陶芸、伊藤健文さんの書も計画中です。

会長テーマの“楽”して“楽”しく一年間進めさせて頂きますので、宜しくお願い致します。

◙樫尾出席委員長

澤田さん、神崎さん、渡邊さん、樫尾の４人で担当させていただきます。

例会への出席はロータリアンの権利であると同時に基本的義務であるとされ仕事を持ち第一線でご活躍の皆様の中には毎週の例会出席が大変な方もいらっしゃると思います。とはいえロータリアンの使命はクラブ、職業、社会、国際への奉仕であり、その為にはまず例会に出席し情報交換をしながらお互いの信頼関係を築くことが大切であるのは言うまでもありません。できる限り都合をつけ多くのロータリアンに例会へ出席いただき、やむを得ず欠席される場合は前日までに事務局へご連絡いただきたいと思います。

例会では出席状況の報告を輪番制で行います。現在会員数は67名ですが、出席免除の方が８名みえ出席率は出席義務者の59名に対して当日出席した会員の率で表し報告しています。また修正出席率は他クラブへのメイクアップにより出席したものと見なされた最終出席率として発表しています。

年間ホームクラブへの皆出席者及びメークアップを含めた皆出席者には記念品を贈り表彰いたします。

今年度はホームクラブへの出席は70～80％以上、メークアップによる修正出席率は100％を目指してい

ただきたいと思います。私も委員長の名に恥じないようがんばりますので、ご協力をお願いいたします。

◆宮尾ローターアクト委員長

ローターアクト委員会の主目的は、名古屋名城ローターアクトクラブの活動を支援する事にあります。名城RACは、1995年６月に創立され、今年で10周年になります。その運営の為提唱10RCから毎年１人当り3,500円拠出されております。今年度は当クラブが10RCの主管となり、10RCと名城RACとの連絡調整を行う事となります。その為年４回10RC合同ローターアクト委員会の開催、委員会運営費の管理等行わねばなりません。名城RACの会長は森上達也君で「一刻千金」の活動テーマで今年度「楽しもう」と言っておりますので皆様の応援をお願いします。なお会員の世代交替等で序々に会員数が少なくなっております。18才～30才迄で活動できる方の紹介、２月15日の合同夜間例会、当クラブ担当の９月７日、４月19日のRAC例会には御協力下さいますようお願いします。

例会は名古屋ガーデンパレス７時からです。

◆７月度理事役員会議題

1．2004～2005年度予算（案）の件
2．長期欠席者の今後クラブ対応について
3．2003～2004年度決算の件
4．ガバナーノミニー候補者推薦の件
5．親睦活動より秋季家族会の件

◆ニコボックスは次回掲載と致します。

先々週の記録

第1048回　平成16年７月13日(火)　晴
夜間職場例会　於：道了山大雄院　17時30分～

◆"奉仕の理想"

◆出席報告

会　員	67(58)名	出　席	34名
出席率	58.62%		
前々回	６月29日(修正出席率)		94.44%

◆ビジター数　98名

◆ゲスト紹介

鳴戸部屋　鳴戸俊英親方

三好幹事報告

1．次回例会終了後、クラブアセンブリーを開催致しますので担当の方はお残り下さい。その後、理事役員会を開催致します。理事役員の方は大変長いお時間となりますが宜しくお願い致します。

吉田(玄)職業奉仕委員長挨拶

本日は沢山のご参加を有難うございます。

水谷君の事業所となります大雄院が鳴子部屋宿舎となっており今回は職場例会でお世話になります。

鈴木(理)会長挨拶

皆さん今晩は！本日は水谷君のお骨折りでここ大雄院にて鳴戸部屋のご好意により大相撲「ちゃんこ料理」例会を開催することになりました。

幹事をはじめ職業奉仕・親睦活動委員会の皆様には大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

日本の国技と云われた大相撲も最近では国際化が進み幕内力士の20%は外国人が占め、国別に見ると11ヶ国50人以上になっています。鳴戸親方はご存じの通り現役時代の四股名は隆の里、初代若乃花の二子山部屋に入門し部屋独特の猛稽古で実力をつけ早くから将来を嘱望されましたが躍進半ばで重い糖尿病や大けがに見舞われ大変苦労を重ね入門以来14年程かかり遂に59代横綱に昇進されました。その努力・苦労に「おしん横綱」とも呼ばれ全盛期は横綱千代の富士に勝ち越しした唯一の力士で、新横綱で全勝優勝は双葉山以来45年振りだったそうです。現在鳴戸部屋は幕内４力士を中心に代表部屋になられ親方自身も相撲界の名伯楽になられることを期待されています。

どうぞ、これからの暑さに負けないようスタミナたっぷりのちゃんこ料理を食べてこの夏に備えて下さい。

水谷君より鳴戸部屋紹介

道了山大雄院は先代の住職が井筒親方の現役時代、関脇大雄の名を寺の山号である道了山大雄院から取り名づけ親となったことで特に井筒部屋とはおつき合いがあり、私も先代に代わって大雄（甲山親方）とのつき合いが在りましたので墓石関係者から宿舎の話があり鳴戸親方は一目見て気にいって下さいましたが私としては井筒の大雄が宿舎を借りに来ると思いお断りをするつもりでおりました処、鳴戸親方の現役時代は花籠部屋にいて先代の二子山とも関係が深く、友人が大塚の寺（仏地院）で花籠部屋の宿舎をしていることから先代は井筒親方と大雄、私は鳴戸親方とご縁が出来まして当院が名古屋場所宿舎になって６年目になります。

今後も応援と支援を宜しくお願い申し上げます。

鳴戸親方を囲んで

鳴戸親方挨拶

現在、若の里、隆乃若、隆乃鶴、萩原など弟子25名、床山3名等、総勢30名の鳴戸部屋を指導しており、十両の萩原は貴乃花の次に早い出世です。

力士を指導する中で最も困難な事は、力士の限界を超えさせ、可能性を引き出してやる事です。相撲の指導は稽古場の教育や土俵で相撲を取るだけではダメで、全てを自分の力に利用する気持ちが必要です。

力士は身体を作る事が仕事ですから、食事の為に何時間も費やし、ちゃんこに使う時間が非常に長いのです。そこで私は部屋を継いだとき、この食事を指導に活かす事にしました。例えば、包丁は早く使うべし、遅いと魚がくさくて不味くなる。炒め物の順序、お客さんを接待する段取りなどもそうです。料理は創造性・色彩感覚、効率、時間の計算が必要です。料理の資質と土俵の資質は共通していて相手の弱点や、客の要望を観察する力、洞察力、思考力が必要です。考える力がない力士はダメです。食に対する疑問を考える人は伸びます。相撲部屋と台所は隣同士で、土俵と台所が直結しています。これは大変よくできているシステムです。

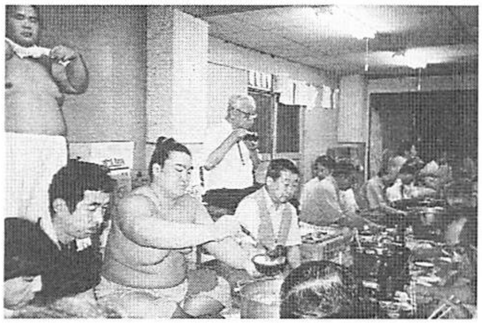
ところが現在入門してくる者達は、信じられないくらい物を知りません。食べ物に対する感謝がなく、ニラ、キャベツの葉っぱ、ホウレンソウも食べられるところを棄てる。水は出しっぱなし。電気は付けっぱなしです。請求書を見てビックリ仰天です。貯めた資金はどんどん減っていく。

15歳で部屋に来る以前の躾が大切です。親が甘やかして育てるから、修行させるのが非常に困難で相撲部屋の指導がこんなにも難しいのかと思いました。弟子作りで胃潰瘍になりそうです。

上位に勝つ事を、謙虚に「恩返し」といいます。上位に勝って単純に自画自賛するなどは謙虚さが足りないのです。単純なだけではダメです。素直さと甘さを混同していると、必ず成長を邪魔します。また、上位に勝てるが下位に負けるのは虚栄心が強いからで、何故なら評価が下がらないからです。

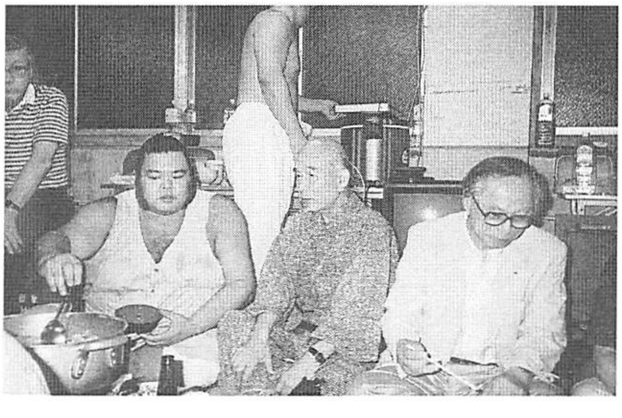
私は、身体が大きくなると思い、炭水化物、ジュース、甘い物を摂った結果、20歳で糖尿病に罹りました。血糖値600〜750です。水をがぶがぶ飲む。傷は化膿して治らない。扁桃腺は腫れる。やる気があるから土俵に残る。すると骨折します。2代目若乃花と一緒に入門しましたが、比較される事は耐え難いものでした。25回入院し、5〜6回手術を受けました。34歳まで相撲を取りましたが、今まで糖尿病と30年のつき合いです。そういう経験から食べ物を通した指導を大切にし、ちゃんこを通した人間教育というものが鳴戸部屋の方針です。ちゃんこ番は勉強の意味で料理を作っています。どうぞお楽しみ下さい。

文責　吉田(玄)



親方に話を伺った後は皆さんお楽しみのちゃんこ料理を堪能。相撲部屋一番の美味さを誇る鳴戸部屋では鍋だけで40種類もあり、当日は親方自らの指揮で具沢山の鍋の他、新鮮なタコ、鰆の西京焼き、まむし御飯、果物などがテーブルに所狭しと並び力士に負けない食欲と部屋の雰囲気を十分楽しみ、小山副会長の“名古屋場所での健闘を祈念します”とのエールに三々七拍子にてお開きとなりました。

関脇若の里と人気急上昇萩原や隆の鶴とも鍋を囲み、浴衣やTシャツなど普段と違った軽装で出席した会員の方々が間近で見る力士の大きさにスマートに見えた程。



次回例会　平成16年8月3日(火)

卓　話　“災害と防災”　会員　足立　一郎君

“体を動かそう”　会員　渡邊　源市君